

いきいき、はつらつ

NO 42
2022.8.1

さいたまシルバー



Contents

- 2 理事長挨拶
- 3 市長挨拶
- 4 令和4年度定時総会
- 6 表彰者紹介
- 7 退任役員紹介
- 8 新任役員紹介
- 9 各種講習・研修
- 10 会員紹介
- 11 お客様の声
- 13 親睦互助会・地域班
- 14 女子会だより
- 15 安全だより
- 16 事務局より・編集後記

早朝の「岩槻駅東口」

公益社団法人 さいたま市シルバー人材センター

〒330-0801

埼玉県さいたま市大宮区土手町1丁目213番地1

さいたま市大宮ふれあい福祉センター 内

Tel : 048-669-0303

Fax : 048-669-0305

<https://saitama-sjc.or.jp/>

さいたま市シルバー

検索



紹介動画





定時総会挨拶

公益社団法人

さいたま市シルバー人材センター

理事長 佐伯 鋼兵

本日、ここに令和4年度定時総会を開催いたしましたところ、このように多数の会員の皆様にご出席をいただきましたことは誠に喜ばしく、心から感謝を申し上げます。

また、さいたま市長 清水勇人様、さいたま市議会議長 阪本克己様、公益財団法人いきいき埼玉副理事長 堀光美知子様、さいたま市保健福祉局長 細沼寛様におかれましては、公務ご多忙中にもかかわらずご臨席を賜り、心から感謝申し上げますとともに、日ごろから当センターの運営に格別なるご指導を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨今の社会状況に目を向けてみると、少子高齢化が急速に進展し人口が減少する中で、高年齢者の雇用については65歳までの雇用確保が義務化され、さらには70歳までの就業確保が努力義務となりました。これにより、当センターの新規入会者の年齢も高くなり、会員全体の高齢化が進むことが想定されますが、当センターには健康で元気な会員が多く、会員一人ひとりに適した働き方や希望に応じた就業の提供が期待されておりまして、その期待に応えるためにも引き続き就業の場の確保に取り組んでまいります。

また、近年、独り暮らしや高齢夫婦のみで生活している世帯が増え、高齢者が社会から孤立しがちになる傾向があることなどから、就業以外のセンター活動については、会

員が積極的に社会参加することにより、生きがいや健康保持につなげるための場をつくり出すことが求められており、シルバー人材センターの使命と役割は大きいものと考えております。

次に、当センターの事業方針について申し上げますと、平成30年度に策定した「第2次中期計画」が最終年度を迎えたため、これまでの達成状況と成果を分析するとともに、センターのさまざまな課題について検討し、会員の皆様により愛されるセンターとなるよう、現在、第3次中期計画の策定を進めております。

今後もシルバー人材センターを取り巻く環境はますます変化し、その時に応じた柔軟な対応と取り組みが求められる中、さいたま市をはじめ、関係諸団体と更なる連携を図り、政令市として相応しい先進的なシルバー人材センターになることを目指し、事業を推進してまいりますので、会員の皆様におかれましても、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ご多用の中、ご臨席を賜りましたご来賓をはじめ、会員皆様のご健勝とますますのご活躍をご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。



定時総会挨拶

さいたま市長 清水勇人

本日は、公益社団法人さいたま市シルバーパートナーズセンターの令和四年度定時総会が、盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

佐伯理事長をはじめ、さいたま市シルバーパートナーズセンターの皆様方には、日頃より、市政各般にわたり、御理解、御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

また、本日表彰を受けられる皆様におかれましては、長年にわたりシルバーパートナーズセンター事業の推進のため、ひとかたならぬ御尽力をいただき、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

さて、本市は昨年、誕生から二十年を迎えるました。先人の汗と皆様の御尽力による二十年の道のりを経て、人間でいえば成人として歩み始めた本市は、ここからさらに個性や強みに磨きをかけ、誰一人取り残さず、誰もが住みやすく、かつ持続可能な地域社会を創造し、都市としての成熟を深めていくステージを迎えています。コロナ禍や激甚化する自然災害、また不透明な世界情勢など、社会経済状況が大きく変化する中、本市が持続的な成長・発展をするためには、

「誰一人取り残さない」というSDGsの理念のもと、直面する課題に迅速かつ的確に対応していく必要があります。本格的な人口減少・超高齢時代の到来に備えて、子どもから高齢者まで、あらゆる世代が輝けるまちづくりを進めてまいります。

その主な取り組みの一つとして、高齢者の生きがいづくりや地域コミュニティの活性化を図るため、サーマルエネルギーセンターの整備にあわせ、余熱を有効活用した新たな東楽園の建築工事に着手いたします。また、シルバーポイント事業やセカンドライフ支援センターの運営、アクティブチケットの交付など様々な事業により、高齢者が活躍できる場を確保してまいります。

さらに、福祉に係る包括的な相談体制を強化するため、複合的な課題を抱えている方などの相談を受け止め、支援に繋げる「福祉まるごと相談窓口」を今年六月、十区全てに開設いたしました。

シルバーパートナーズセンターにおかれましては、会員の皆様がお持ちの豊かな知識や経験、能力を地域社会で發揮できるよう、活躍の場を引き続き提供されることを期待しております。

本市といたしましても、このような重要な役割を担われるシルバーパートナーズセンターと連携して高齢者の皆様方の社会参加を支援してまいりますので、今後とも、皆様方におかれましては御理解、御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、さいたま市シルバーパートナーズセンターのますますの御発展と、会員皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

令和4年度定時総会

令和4年度定時総会が令和4年6月21日(火)、大宮駅東口に完成した再開発ビルである「**大宮門街**」おおみやかどまち内のさいたま市民会館レイボックホールおおみや(愛称: RaiBoC Hall)にて開催されました。

今年度は新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置は発令されていないことから、感染対策を十分にしたうえで、特に入場者数を制限せず、また3年ぶりに来賓をお招きして開催することができました。

当日の出席者は212名、委任状と合わせ3,484名の出席となりました。

司会を金井茂会員が務め、佐伯理事長の挨拶に続き、さいたま市長清水勇人様をはじめ、来賓の方々から祝辞をいただきました。

議長を務める片桐副理事長



その後、佐伯理事長より会員及び退任役員の表彰をおこない表彰状が授与されました。

引き続き総会に入り、議長に片桐健司副理事長が選任されました。

報告事項として、令和3年度の監査報告と令和3年度事業報告をおこないました。

また決議事項として、令和3年度収支決算報告の承認および役員の選任について審議され、いずれも承認されました。

決議事項に続き、その他の報告事項として、3月の理事会で承認された令和4年度事業計画及び令和4年度収支予算について報告をおこないました。

最後に新任役員が壇上に上がり、就任のお披露目をさせていただきました。

挨拶をする佐伯理事長



ご来賓の皆様



市議会議長 阪本 克己 様



さいたま市長 清水 勇人 様

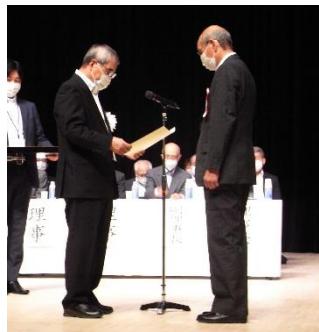


公益財団法人いきいき埼玉
副理事長 堀光 美知子 様

ご祝辞をいただいた3名の他、さいたま市保健福祉局長 細沼 寛 様に来賓としてご出席いただきました。

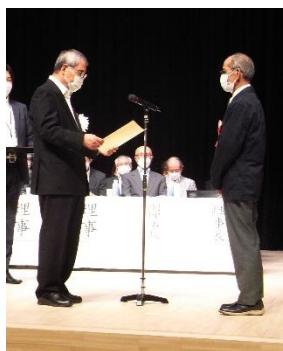


会員表彰者



(写真左から) 下村 武 会員 齋藤 忠夫 会員 山内 忠義 会員 波多野 英雄 会員
(ご欠席) 林谷 豊和 会員 伊坂 孝 会員

会員表彰者
(安全表彰)



(写真左から) 大山 真市 会員 本橋 邦夫 会員 加藤 光昭 会員 白井 功 会員

役員表彰者



(写真左から) 片桐 健司 副理事長 伊藤 義夫 理事 地主 英夫 理事 酒井 秀雄 理事
宇田川 昌宏 理事 生澤 富代 理事 畑 佳一朗 理事 鈴木 英俊 理事
高橋 和恵 理事 小島 一夫 監事

会員表彰者



浦和事務所 林谷 豊和 会員

若き日に身に着けた経験を活かせる仕事をくださる市民の方に、これからもていねいな仕事をして、感謝の気持ちを伝えていきたいと思います。



大宮事務所 下村 武 会員

見沼区第三地域の地域長として7年間、大宮事務所の職員の皆様と見沼区第三地域の会員さん、班長さんのおかげで表彰され、感謝の気持ちでいっぱいです。



大宮事務所 斎藤 忠夫 会員

人と人との繋がりにあこがれ、駐輪場で働いています。仲間との就業や触れ合い、地域での活動は私の宝です。みなさんに感謝しております。



大宮事務所 伊坂 孝 会員

シルバーパートナーセンターに入会し除草の仕事をして20年以上たちました。お客様の「きれいにしていただけてありがとうございます」と言われるのが何より楽しみです。



与野事務所 山内 忠義 会員

平成20年の入会以来、何事にも明るく元気に全力で取り組んできました。今回の表彰は皆様のおかげと感謝しております。ありがとうございました。



岩槻事務所 波多野 英雄 会員

シルバーパートナーセンターに入会して、健康を維持することができました。仕事をして、仲間と触れ合って、健康になる。これが何よりの宝ものです。

会員表彰者（安全表彰）

植木剪定 大山 真市 会員



入会し植木班で十数年、表彰は、よい仲間に恵まれたお陰だと思います。これからも安全第一、感謝を忘れず、信頼されるシルバーをめざしてまいります。

宅配食事サービス 本橋 邦夫 会員



宅配食事サービスに従事して、20年近くになります。お陰様で無事故でこられました。これからも、安全第一で、体の続く限り仕事を続けたいと思います。

植木剪定 加藤 光昭 会員



会員表彰の栄誉にあざかり、大変幸せに思います。ひとえに事務所職員の皆様、会員の先輩、同僚の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

草取り・草刈り 白井 功 会員



除草は、雑草と草花の区別が大事。雑草を大事にしている方もいます。勝手に取れません。依頼者の気持ちを大切に、これからも励んでいきたいと思います。

退任役員紹介

本年度、10人の役員さんが退任しました。大変お世話になりました。ありがとうございました。



片桐 健司 前副理事長

センターに入会し、その時々に出会い、ご指導と激励くださった皆様のおかげにより、何とか任務を果たせたかと思います。感謝しかありません。



伊藤 義夫 前理事

大変お世話になりました。さいたま市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました。



地主 英夫 前理事

今まで理事としてお手伝いさせていただきましたが、これからも当センターのお役に立てるように頑張ってまいりたいと思います。



酒井 秀雄 前理事

草創期の高齢者事業団から、高齢者施策の一環を担う「組織・事業」との付き合いは、多くの素晴らしい出会いをいただきました。ありがとうございました。



宇田川 昌宏 前理事

当センターの理事として貴重な時間を過ごし、得難い仲間とはたらくことができたこと、心から感謝しております。ありがとうございました。



生澤 富代 前理事

貴重な体験をたくさんさせていただきました。今後も好奇心を大切に、有意義な生活を心掛けたいと思います。皆様、ありがとうございました。



畠 佳一朗 前理事

浦和区選出理事として、多くの勉強の機会を得、また楽しい時間も過ごせました。職員のご協力もあってのことと、感謝しております。益々のご繁栄を祈念いたします。



鈴木 英俊 前理事

8年間努めさせていただきました。会員の皆様、ありがとうございました。後期高齢者になりましたが、あと25年頑張ります！よろしくお願いします。



高橋 和恵 前理事

理事・地域・事務局の皆様、お世話になりました。大変だと思いますが、センターの発展を願っています。これからも、一会员としてよろしくお願いします。



小島 一夫 前監事

14年間、大変お世話になりました。在任中、叱咤激励をいただきありがとうございました。当センターのますますの発展を期待しています。

新任役員紹介

新任役員をご紹介いたします。
今後ともよろしくお願ひいたします。



菅野 瞳美 理事	赤羽 敏夫 理事
奥山 幸二 理事	地主 英夫 監事
鶴見 守夫 監事	荒木 修 理事
飯島 進 理事	相馬 妙子 理事
越智 友子 理事	小林 耕治 理事
曾我部 優子 理事	吉沢 浩之 理事
津野 武文 理事	神谷 伸 理事
大熊 克則 専務理事	島村 京一 副理事長
増田 彰三 理事	八田 利久 理事
佐伯 鋼兵 理事長	佐伯 鋼兵 理事長

令和4年度 事業計画

1 会員の増強

目標会員数 4,890 人達成のため、会員一人ひとりが、組織の一員としてセンターの魅力を広く周知することで、会員増強に努めます。

2 就業の場の確保

契約金額 17 億 1,500 万円、契約件数 17,800 件、就業率 81% 達成のため、就業開拓並びに普及啓発を図るほか、一人ひとりがより良い就業を心がけ、就業の場の確保に努めます。

3 安全・適正就業対策の推進

安全・安心して「働く」ため、安全教育の継続や適切な就業形態の情報提供を強化し、安全・適正就業対策を推進します。

4 運営体制の強化・充実

会員組織の充実を図るため、会員の自主的な活動を推進するとともに、魅力ある組織の構築を目指し、運営体制の強化・充実に努めます。



各種 講習・研修

次のような講習や研修が、昨年度下半期に実施されました。

会員講習・研修

当センター主催の会員を対象とした技能及び資質向上を図る講習や研修です。

① 植木剪定研修「松の剪定」

3月 9日 19人参加

会場・与野南小学校



② 植木安全就業研修

3月 29日 21人参加

会場・大宮ふれあい福祉センター



③ パソコン講習

エクセル入門

1月 26～28日 7人参加

会場・高齢者生きがい活動センター

初めてのパソコン

2月 8～10日 7人参加

会場・与野事務所

④ 救命講習

3月 11日 13人参加

3月 18日 13人参加

会場・大宮ふれあい福祉センター



⑤ 接遇研修

3月 10日 29人参加

会場・大宮ふれあい福祉センター

⑥ 高齢者自転車安全講習

11月 30日 17人参加

会場・大宮事務所

⑦ コンプライアンス講習

3月 25日 17人参加

会場・浦和ふれあい館



⑧ アンガーマネジメント研修

3月 7日 70人参加

会場・浦和ふれあい館

研修の実施に当たっては、手指消毒、マスクの着用、身体的距離の確保など基本的な感染対策をするとともに、定員を減らすなどして、感染症対策に配慮して実施しています。

人を嫌わず、和に結びつける…

これ最大の喜び！

緑区大門にお住まいの河村賢さんにお話を伺いました。宮城県生まれ、18年前に現在の地に越されてきたとのことです。平成11年秋に友人の勧めでシルバー会員となり、半年後地域の班長に推され、その一年半後には地域長となり、現在に至るまでの10年間活躍されてきました。

人をまとめることを得意とし、新規会員の勧誘にも力を注いでいます。地域班では、緑区第一地域から第三地域の連携のきっかけもつくったとのことです。前職について

「24歳で新聞販売業を起業、起業40年を機に区切りをつけ故郷をあとにした」とのことです。

会員となってからは地域会議、総会などの会合、春は花見会をはじめ暑気払い、秋の一泊旅行、新年会などを企画し、会員同

会員紹介

浦和会員 河村 賢 さん

士の交流にも力を注いでいます。信条として「人に嫌われない。自ら人の中に飛び込み和を築く。一緒に楽しむ。そのことで人が集まってしてくれる」とおっしゃっていました。「区の花火大会では24名、地域会議には50名、いずれも時間前に全員が集まってくれた時は嬉しかった」と笑顔で話してくれました。「週1回のグラウンドゴルフ、月2回のカラオケも家族の理解と協力があってこそ」と、傘寿を過ぎてもエネルギーッシュな会員さんです。
(取材・吉川編集委員)



私たちの仕事を みてくれている人がいる

お二人は、お名前が一緒、シルバーへの入会が同じ昨年、紹介された初めての就業も同じ職場など、重なっているねと笑ってインタビューに応じてくれました。

その就業とは「アイジャパン(株)」本社ビルでの清掃作業です。（【注】本号の「お客様の声」で取材しています）月～金曜まで午前中、一日交替の就業です。「お掃除マニュアルが実際に良く出来ていて、その通りに作業して終わると丁度12時です」「社員の皆さんのが親切で、挨拶してくれます」とのこと。

特に気を配っていることは「重点はトイレ。先ず換気ですね。人が触れそうなところの消毒も欠かせません」と、宮下さんは前職の看護師の経験を生かしたお仕事振り

会員紹介

大宮会員 宮下 郁子 さん（写真左） 川村 郁子 さん（写真右）

を披露。お互いに申し送りを十分に行い、情報を共有しているそうです。総務部長さんが仕事ぶりを褒めていましたよと伝えると「掃除なんて誰も見てないと思っていましたが、誰かがみてくれているのですね。うれしいです。これからも頑張ります」

仕事に慣れ、余裕ができたら、宮下さんは旅行、川村さんはパソコンと華道と夢が広がっていました。（取材・後藤編集委員）



仲良しグループで 会話を楽しみながら…

シルバー人材センター与野事務所内で内職作業に勤しむ皆さんに伺いました。

仕事は、著名飲食チェーン店の箸袋セット。クオリティ確保が作業ポイントで「事前にササクレやシミのある箸を細かくチェックし、分別しています」(宇宗田さん)。

就業はリーダーの宇宗田さんと西島さんが週5回、前川さんが3回、鈴木さんが2回。8:30~15:30就業が基本。出来高払いのため、自己都合でのお休み、早退も自由です。鈴木さんは「他にもシルバーの仕事(環境センター)を掛け持ちしています」。

手をとめることなくスムーズに作業しながら、情報交換などの会話がはずみます。最年長の西島さんは「とにかく来るのが楽しい、それが一番!」。前川さんは「いい時間が過ごせて、毎日の生活にもメリハリが

会員紹介

与野会員 宇宗田 清枝 さんら4人

つきます」。気のおけない仲間との内職ということで、就業年数は、宇宗田さんの7年を筆頭に、5年(西島さん)、4年(鈴木さん)、3年弱(前川さん)と長続きしています。

ちなみに、作業場向かいの与野本町小学校から聞こえる子供たちの歓声にも「元気をもらっている」(西島さん)とか。

(取材・小野塚編集委員)



(後列左) 鈴木 様子さん・前川 球江さん
(前列左) 西島 初子さん・宇宗田 清枝さん

会員 感謝・奉仕・実行

さいたま市シルバー人材センターとの提携事業として、平成27年に喫茶ルーム「あかしあの森」を開始、その母体である西区の埼玉福祉事業協会が運営する施設の一つ、障害者支援施設「ゆずり葉」へ理事長高橋清子様をお訪ねしました。

福祉事業協会は障害者施設「杉の子学園」のほか、障害者の自立支援と高齢者の雇用を目的に、10の事業所を運営しています。また、ビニールハウスの整備、キッチンカー導入計画、養蜂や納豆の製造、リサイクルとして手漉き和紙、古紙再生、植木鉢、リサイクル石鹼などなど、多種多様な事業も展開しています。「障害者が生産・製造した商品(農作物やクッキー・パンなど)をシルバー会員が販売し、障害者の自立支援、高齢者の就業支援をしてきました」「シルバ

お客様の声

社会福祉法人 埼玉福祉事業協会 様

一さんは、障害者に対しての理解と、共生社会に生きていく意識を持たれているので、若い職員の勉強となる。人生100年時代、自分たちの目的としてだけでなく、シルバー世代が社会との接点を多く持ち、その力をもっと活かす場を多くしたい。そしてシルバー世代が地域貢献しながら、その知恵も継承していくもらいたい」「シルバーさんの就業時間をもっとのばしてほしい」と、ダイナミックでエネルギッシュに話をされる理事長さんでした。

(取材・吉川編集委員)



永きにわたり地域に 愛されるお店を目指して

JR 高崎線宮原駅近くの本社ビルに千葉崇文総務部長をお訪ねしました。

「当社は昭和 39 年、秩父市で小さな個人経営の時計店として創業しました。その後、メガネや宝石も扱っていましたが、昭和 47 年、当時の浦和市にメガネ店を開店し、メガネ専門店チェーンの第一歩を踏み出しました。社名は「アイジャパン」ですが、屋号は「アイメガネ」としてご愛顧して頂いています。『目と耳のトータルケアショップ』として長年培ってきた技術と親しみやすい接客で、お客様一人ひとりのお好みに合った商品や情報の提供等、独自のサービスを展開しています。

地元のお客様とのコミュニケーションを第一に考えて、全国展開をせずに埼玉県を中心とした地域密着展開で 42 店舗を運営

常に誠心誠意で境内を 掃き清める姿に感謝！

さいたま市岩槻区慈恩寺の華林山最上院慈恩寺、別称「慈恩寺観音」に大嶋法道住職を訪ね、会員の就業状況等を伺いました。

「慈恩寺観音は西暦 824 年に慈覚大師により開かれた天台宗の寺院で、大師が遊学された中国西安にある大慈恩寺にちなんで寺名になった」といいます。また坂東三十三霊場の第十二番札所として知られ、少し離れた境内の玄奘塔には西遊記(孫悟空物語)で名高い玄奘三藏法師の靈骨が十三重の石塔に奉安され、玄奘三藏法師の銅像もあります。

「当寺では年間を通じて行事を行っており、特に 5 月 5 日子供の日の玄奘祭では孫悟空に扮した多くの幼稚園児が、玄奘塔までパレードする」とのこと。多くの方々に愛着を持たれているお寺と感じました。

お客様の声

アイジャパン 株式会社 様

しています」

シルバーにお仕

事を発注して頂いた経緯をお尋ねすると「以前は社員が交代で清掃していました。会社の



成長とともに業務量も増え、清掃に手が回らなくなっていました。シルバーさんにお願いしてから、社員が自分たちで清掃していた頃の何倍もキレイな職場になりました。また、会議中は掃除機運転などに配慮して頂くなど、当方の業務に差し障りが出ないように気配りして頂いており、安心してお仕事を任せることができます」と、お褒めの言葉を頂きました。

(取材・後藤編集委員)

お客様の声

華林山最上院慈恩寺 様

「シルバー人材センターには 10 年以上前から境内の掃き掃除と除草の仕事をお願いし、どの人も誠心誠意境内を丁寧に掃き清める姿に感謝しています。参拝者の方々からの「いつも綺麗にしていますね」の言葉に嬉しくなります」とのことでした。「2人のシルバーさんに週 2 日、9 時から 12 時まで 3 時間お願いしています。初詣、椿や桜の開花時期、落ち葉の季節には作業に一層力が入るようです」と感謝の言葉を幾度もいただきました。

(取材・菅野編集委員)



第12回 四支部交流グラウンドゴルフ 浦和支部大会を終えて

さいたま市シルバー人材センター親睦互助会唯一の支部間交流行事、グラウンドゴルフ大会が、5月18日、新緑の木々の下、浦和支部担当で開催されました。

会場は、さいたま市緑区大間木ソフトグラウンド公園。コロナ感染の対策をしっかりとし、各支部より選抜された選手が、熱戦をくりひろげました。日頃鍛えた力を発揮し、和気あいあい、グラウンドゴルフを通して会員相互の親睦と 心身の健康増進を図ることを目的として競技を行ないます。

畠浦和支部長の激励の挨拶の後、役員の大会要項の説明を終えて、プレー開始。気が付くと各選手の目は真剣そのもの。プレーを通して知らない者同士が仲間として交流する姿から感じる、強い精神力・体力・

親睦互助会

岩槻支部 中野孝司

行動力はシルバーにて鍛え抜いた賜物であるとも言えます。短い時間での交流でしたが、勝敗にこだわらず、お互いの健闘を称え合う交流はシルバー会員として、心に残る一日でした。

次回岩槻大会での再会を誓い合い、お互いの健康を祈念し、明日からの就業活動の支えになったようです。浦和支部役員の皆様、各支部の役員の皆様、ご尽力誠にありがとうございました。



地域班

さいたま市シルバー人材センターでは、会員の住んでいる地域を基に地域班を編成しています。さいたま市内の行政区10区をそれぞれ2地域から5地域に分け、さらにその中に15名から25名を基準として、地域班が設置されており、令和4年3月31日現在その総数は31地域243班となっています。

地域には地域長が、地域班には地域班長がおかれ、地域班活動の中心を担っています。



清掃ボランティア



地域会議

地域班活動は、センターの機関紙の配布のほか、年に2回の地域会議や清掃などのボランティア活動を実施することになっていますが、ここ数年は新型コロナウィルス感染症の拡大により、活動を自粛しています。

令和4年度は感染状況を見ながら、十分に感染対策をして、活動を再開する予定です。

女子会だより

昨年度もコロナ感染症の影響で活動の大半を自粛することになりました。

令和4年度は各事務所、少しでも女子会が開催できるようにと工夫を凝らしながら、今年度活動の企画を立てました。みなさんのたくさんの笑顔が見られますように！多くの参加をお待ちしております。



“布製ティッシュケース作り”(2022.2.21 浦和事務所)



“手作り保冷バック作り”(2022.6.16 与野事務所)

今年度の開催

<浦和事務所>

1, 2回実施予定、日時・内容等未定

<大宮事務所>

7月7日(木) 13時から

大宮鉄道博物館見学(ガイド付き)

11月頃

陶芸体験教室(大宮事務所内)

3月頃

お花見とお茶会(大宮公園)

<与野事務所>

6月16日(木) 保冷バック作り

10月20日(木) 13時から

秋のバラ鑑賞会(与野公園内)

2月16日(木) 13時から

褒められスイーツ(マドレーヌ)作り

<岩槻事務所>

7月28日(木) 13時から

キューイーからの食育と簡単健康

管理体操(にぎわい交流館)

11月頃 カステラ作り



“鉄道博物館見学”(2022.7.7 大宮事務所)

安全だより

令和3年度事故状況は右のとおりです。前年度と比較して、賠償事故は減少しましたが、傷害事故は大幅に増加していました。

傷害事故に関しては、就業中の転倒によるケガが15件、また就業途上でも自転車による転倒が5件発生しています。不注意によるケガには出窓や階段に頭をぶつけたり、器具の取り扱いを誤ったりしたもののが9件発生しています。

加齢による体力の衰えや、認知能力の低下を意識し、作業や就業途上には十分注意しましょう。

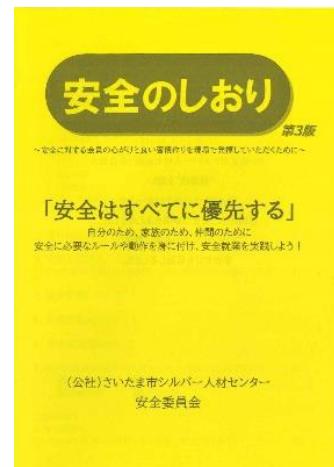
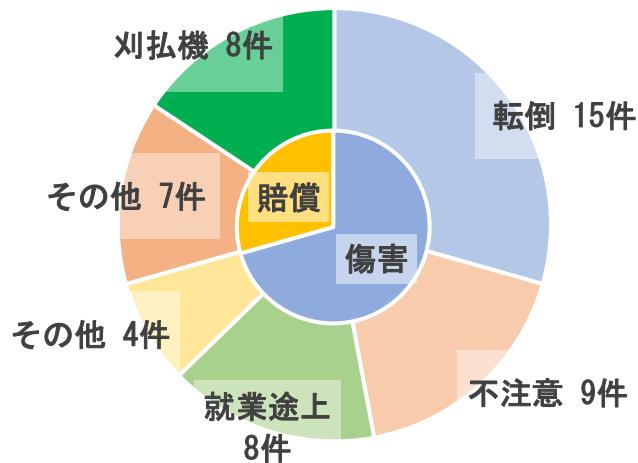
賠償事故に関しては、刈払機による飛び石等の事故が8件と相変わらず多くなっています。令和4年度から除草班は新たに事故が起こらないような就業体制を導入し、事故件数の減少が期待されています。

また、会員の皆様におかれましては安全のしおり第3版を就業時等に携帯していただき、「安全はすべてに優先する」としてゆとりを持った「安全行動」をお願いいたします。

今後とも安全委員会を中心に事故撲滅に向けて取り組んでまいりますので、会員皆様のご協力をお願いします。

令和3年度事故状況

	傷害	賠償	合計
令和3年度	36	15	51
令和2年度	25	23	48
増 減	+11	△8	+3



令和3年度・令和4年度

さいたま市シルバー人材センター安全就業スローガン

- ・大丈夫と 思う過信が 事故のもと
- ・焦るな！急ぐな！手を抜くな！ゆるむ心に潜む事故


事務局より
シニアの健康教室

令和4年3月8日、15日、22日の3日間、浦和ふれあい館にて当センターのアクティブ・シニアサポートグループによる、シニアの健康教室が開催され、42名の一般市民が参加しました。

フレイル(健康な状態と、要介護状態の中間的な状態、加齢に伴う筋力と認知力が低下した状態)を予防するための講座で、栄養・体力・社会参加を三本柱に講義や、ストレッチ体操を行い、合わせてシルバー人材センターの紹介を行いました。

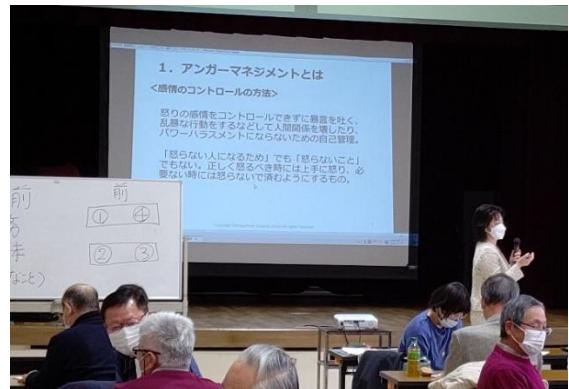
9月にも開催を予定しています。詳しくは市報さいたま8月号をご確認ください。


アンガーマネジメント研修

令和4年3月7日、浦和ふれあい館で、会員研修としてアンガーマネジメント研修を実施しました。

アンガーマネジメント研修では自分と他人の価値観の違いを理解し、「怒らなくていいことは怒らない」という許容範囲を広げることが大切であることを学びました。就業やプライベートにおいて円滑なコミュニケーションを保つために役立つ研修で、70名の会員が参加し、ご好評をいただきました。

令和4年度も実施する予定ですので、詳しくは時期が近づきましたら会員ニュースでお知らせいたします。


編 集 後 記

前号、会報41号からリニューアルしました。ご覧になって如何でしたでしょうか？コロナ禍で、就業や様々な活動が制限されている中、町で会員さんが生き生きと働いている姿を見かけると、大変励されます。会報はこれからも“みんなの笑顔のために”、会報を読むとホッとするような誌面づくりを心掛けたいと思います。ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。編集委員一同、お待ちしております。（本部事務所会報担当まで）

表 紙
早朝の岩槻駅東口

現在の岩槻駅は2016年3月に竣工し、城下町に相応しく白壁のイメージで屋根のラインも瓦調となり、人や車が少ない早朝は、ひときわ目を引きます。東口と西口を結ぶ通路があり、利便性が高まり、東口西口周辺で再開発事業が進んでいます。